

2023年12月22日

株式会社カネカ
IR・広報 (Investors & Public Relations) 部

グリーンボンド 2023 年年次レポート

当社は、2019年9月にカネカ生分解性バイオポリマー Green Planet® ※ (以下、Green Planet) に係る製造設備及び研究開発の資金調達を目的として、グリーンボンド (第7回無担保普通社債) を発行しております。グリーンボンドの発行1年後から償還までの期間、調達資金の資金充当状況及び Green Planet の各種認証の取得状況や用途の採用事例等、事業開発の状況について年次でレポートし、外部機関によるレビューを受けることになっております。2023年の年次レポートの内容は以下の通りです。

※ カネカ生分解性ポリマー PHBH®は、2021年にカネカ生分解性バイオポリマー Green Planet に名称変更しました。

1. 調達資金の資金充当状況 (2023年9月末現在)

(単位: 百万円)

発行金額	手取金額※1	充当金額※2	未充当残高
5,000	4,970	4,970	—

※1 手取金額は、発行金額より発行諸費用を差し引いた金額

※2 充当済金額の内訳

	充当予定金額	充当金額	未充当残高
設備資金	2,560	2,560	—
研究開発資金	910	910	—
グリーンボンド発行前の 設備資金、研究開発資金	1,500	1,500	—
合計	4,970	4,970	—

2. Green Planet の各種認証の取得状況及び用途の採用事例 (記載の日付は発表日)

※2022年年次レポートのリリース以降に発表した採用事例を記載しています。

- 2022年12月20日 [ラグビー コベルコ神戸スティーラーズに採用](#)

Green Planet 製のストロー、スプーン、フォークが、JAPAN RUGBY LEAGUE ONE のラグビーチーム「コベルコ神戸スティーラーズ」に採用されました。2022-23年シーズン ホストゲーム開幕戦の12月24日花園近鉄ライナーズ戦よりスタジアム場外飲食売店で提供されています。

- ・2023年2月22日 [ファミリーマートの「コンビニエンスウェア ブルーグリーン」プロジェクトで商品化](#)

Green Planet を用いた「スプーン 8 本入り」・「フォーク 8 本入り」が、株式会社ファミリーマートの「コンビニエンスウェア ブルーグリーン」プロジェクトで商品化されました。2 月 28 日より全国ファミリーマート約 16,500 店舗にて発売されました。

- ・2023年3月24日 [食品フィルム包材世界初導入](#)

Green Planet 製の食品フィルム包材が、JAL 羽田空港ダイヤモンド・プレミアラウンジで提供されるおにぎりの包材に採用されました。食品の個包装に Green Planet 製フィルムを用いる事例としては世界初です。

- ・2023年3月31日 [JR 西日本ホテルズと廃食用油を用いた資源循環を開始](#)

株式会社ジェイアール西日本ホテル開発（以下「JR 西日本ホテルズ」）と共同して、JR 西日本ホテルズが運営する施設から排出される廃食用油を用いた資源循環の取り組みを開始しました。

最新の各種認証の取得状況等は、弊社ホームページ [Green Planet の事業・製品ページ](#)に記載しております。

<外部機関によるレビューについて>

株式会社格付投資情報センター（以下、R&I）から、同社のグリーンボンドアセスメント定期レビューを受けており、結果は R&I のウェブサイトにて公表されます*。

*R&I ウェブサイト：<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/greenfinance/index.html>

<グリーンボンドの概要>

- ・名称：株式会社カネカ第7回無担保普通社債（社債間限定同順位特約付）
- ・発行額：50億円
- ・発行年限：5年
- ・発行日：2019年9月12日
- ・資金使途：PHBH®の製造設備および研究開発費用
- ・取得格付：A（R&I）

関連リンク：[カネカ 日本の化学会社初のグリーンボンドを発行](#)
[カネカ グリーンボンドの発行に関するお知らせ](#)
[グリーンボンド 2020 年年次レポート](#)
[グリーンボンド 2021 年年次レポート](#)
[グリーンボンド 2022 年年次レポート](#)

以上